

2025年度

ニチキッズ八山田西保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

| 評価方法 | | |
|----------------|------|--|
| 保育士等（全職員）の自己評価 | 評価期間 | 2026年1月5日（月）～2月27日（金） |
| | 実施方法 | 全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。 |
| 保育施設の評価 | 評価日 | 2026年3月9日（月） |
| | 実施方法 | 話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。 |

| 項目ごとの評価 | |
|-------------|--|
| 保育理念 | 主体性とは何かを考えながら、子ども一人一人のありのままの姿を大切にし、その子の思いや気持ちを尊重した保育を心がけた。様々な経験の中、成功体験を大切にしながら、失敗しても諦めない心の強さも育むことができた。一人一人の意欲や向上心を引き出し、自信と自己肯定感に繋がられるようにした。 |
| 子どもの発達援助 | 一人一人の様子、クラスの現状をMTGや会議やケースカンファレンスで話し合い、意見を出し合い、情報共有することで、保育の全職員であたたかく援助することができた。 |
| 保護者に対する支援 | 日々のコミュニケーションを大切にし、ホームページや連絡帳、送迎時の関わりの中で、日々の様子を伝え合うことができた。保護者アンケートの意見を活かし、行事や普段の保育に活かし、保護者からのあたたかい言葉が、職員一人一人のモチベーションにも繋がりを、信頼関係のもと、共に成長を喜び合うことができた。 |
| 保育を支える組織的基盤 | 計画的にMTGや会議、ケースカンファレンスを行い、情報共有を徹底した。子どもたちの興味関心や意見、保育者の思いを大切にし、保育運営を行うことができた。 |

| 総評 |
|--|
| コミュニケーション、情報共有を大切にし気付きや意見を伝え合いながら、より良い環境、保育、関わりを念頭におき、保育ができた。子どもの今の姿を大切にし、成長や様子に合わせながら、都度環境設定や関わり方を、職員全員で考え、話し合ったことで寄り添った保育ができた。初めての試みのサツマイモの袋栽培を行ったり、行事等では昨年度までの反省と良かった点を活かし、今年度らしく変化をつけたことで保護者アンケートでは毎回あたたかい言葉をいただき、職員の励みにも繋がった。 |